

文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組全国シンポジウム

「大学間連携共同教育推進事業」選定取組全国シンポジウム

日 時：平成26年2月18日（火）
会 場：学術総合センター 一橋講堂（東京都千代田区）
発表形式：ポスター
発表テーマ：「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」
趣 旨：大学間連携共同教育推進事業選定取組が開始されてから2年を迎え、全国の本事業関係者間の情報交換を行うことにより、本事業の今後の進展に役立てるとともに、本事業の意義・進捗状況などを対外的にアピールすることを目的とする。
概 要：事例報告、パネルディスカッション及び本事業に係るポスターセッション



平成24年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組 「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」



わが国の保健医療分野では多職種協働による在宅医療体制の整備が重要な課題となっており、地域包括ケアの中で在宅がん患者の療養支援を行う体制整備を推進する必要性は高い。そこで、本事業は薬学・看護学の統合教育体制を確立している長崎県内の国公私立3大学（長崎大学・長崎県立大学・長崎国際大学）が、さらに医学・歯学等の教育者を加えた協働教育体制の充実を図り、県内の4自治体・12職能団体と連携・一体となって、多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成の拠点作りを目指す取組である。

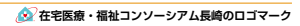
プロジェクト概要

育てたい人材像 多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門職としての主体性と協調性を身につけ、在宅がん医療に貢献できる人材。

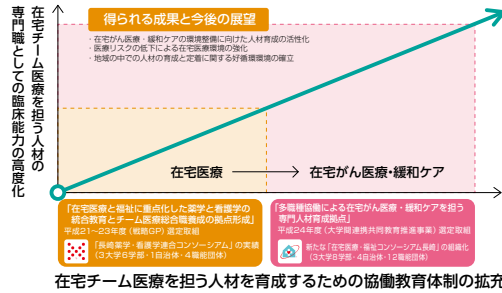
連携の戦略 既に確立している在宅チーム医療に関する薬学と看護学の統合教育体制を基盤とし、新たに医学や歯学等の教育者と地域の人材を加えた協働教育体制の充実を図ることにより、実行性のある連携教育を展開する。

「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」の組織化

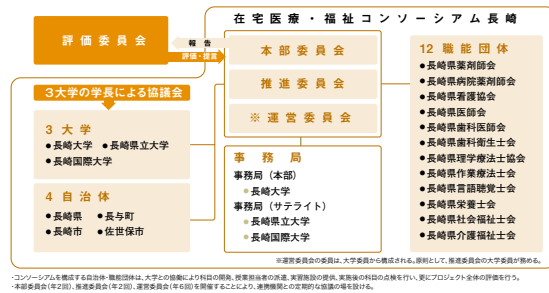
連携の成果 学生は多職種協働の必要性を認識し、自らの専門分野とは異なる分野のケアに関する基礎力、応用力、実践力を身につけ、在宅がん患者の療養支援をできる専門性を修得する。学生は地域の在宅医療機関や福祉施設で広く活躍する。



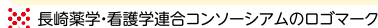
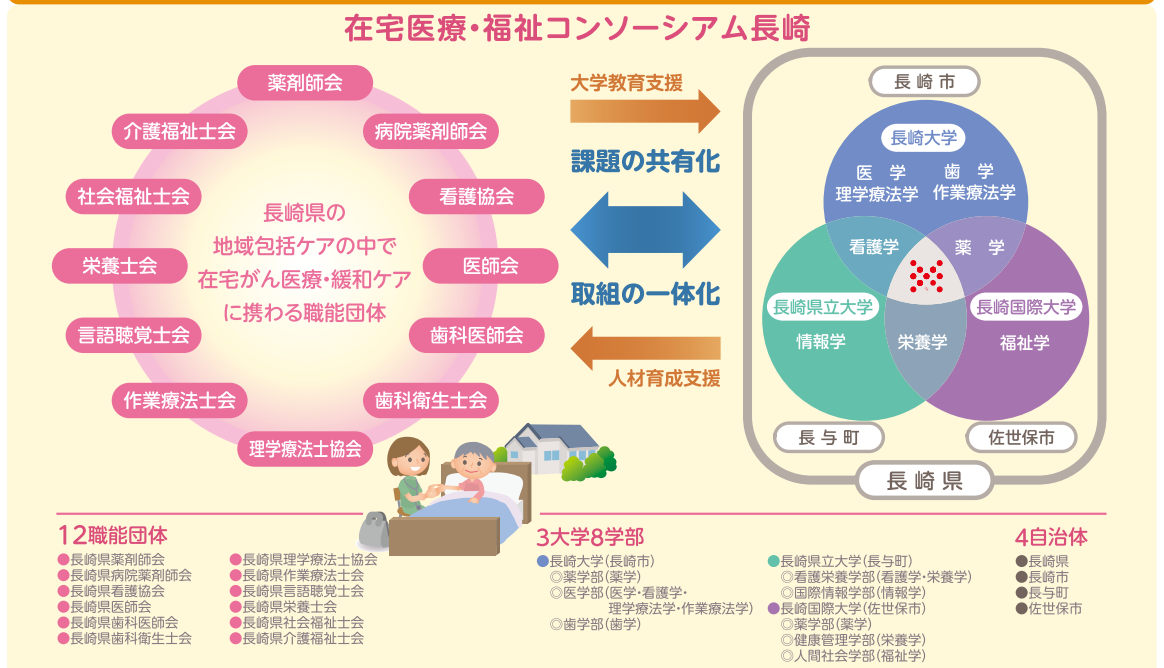
多職種協働による在宅チーム医療体制の発展・充実



運営体制と評価体制



連携取組の実現に向けた実施体制



長崎県内で薬師と看護師の養成課程を持つ国公私立3大学が、1自治体・5職能団体と連携し、平成21年度から活動を続けているコンソーシアム。

大学間単位互換科目の開発年次計画

科目名	コーディネーター科目	学年	授業方法	区分	開講担当	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
在宅がん治療概論	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅ケア概論	❖	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎大学	後期開講	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅緩和ケア概論	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎県立大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅医療概論	❖	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎国際大学	後期開講	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
地域包括ケア概論	○	低学年	講義 (オムニバス)	合同授業 (基礎力)	長崎国際大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅チーム医療 早期体験学習	❖	低学年	実習	合同実習 (動機付け)	長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学	前期開講	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
地域包括ケア 早期体験学習	○	低学年	実習	合同実習 (動機付け)	長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
薬物治療実践学	❖	—	講義 (オムニバス)	合同授業 (応用力)	長崎大学	前期開講	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅看護論	❖	—	講義 (オムニバス)	合同授業 (応用力)	長崎県立大学	後期開講	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅がん治療特論	○	高学年	演習 (模擬カンファ)	合同授業 (応用力)	長崎大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅緩和ケア特論	○	高学年	演習 (模擬カンファ)	合同授業 (応用力)	長崎県立大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
地域包括ケア特論	○	高学年	演習 (模擬カンファ)	合同授業 (応用力)	長崎国際大学		「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、充実化を図る。		
在宅がん医療・緩和 ケア合同実習	○	高学年	実習	合同実習 (実践力)	長崎大学 長崎県立大学 長崎国際大学	3月6～8日に 小規模トライアル 実施	2月～3月に 大規模トライアル 実施予定	「NICEキャンパス長崎」 科目登録	授業内容を見直し、 充実化を図る。	

科目のモジュール化 ↓ 大学間単位互換プログラムの体系化

講義 実習 演習

長崎薬学・看護学連合コンソーシアムのロゴマーク

NICE キャンパス長崎について
長崎県内全ての大学、短期大学および高等専門学校で構成される
単位互換制度 (本コンソーシアム提供科目:平成25年度履修者359名)

地域包括ケア早期体験学習

【実習概要】

目的 地域の在宅医療支援施設の担当者とともに在宅療養者宅への同行や地域包括支援センターの実務を学ぶことを通し、在宅療養支援の実態を知ること、多職種協働によるチームアプローチの重要性を考える。

一般目標 高齢者をはじめとする地域住民の保健・医療・福祉・介護ニーズに対して、地域包括支援センターが果たしている役割や、地域の関係機関と専門職がどのように連携し支援を行っているのかを理解する。

開講期間:平成25年9月18日(水)～平成25年9月19日(木)

開講場所:長崎大学薬学部、長崎市内の地域包括支援センター

対象:「NICEキャンパス長崎」単位互換履修生で、医療・保健・福祉・介護等の学科を専攻している1年次以上の学生

内容:施設体験学習後、「理想の地域包括支援センターを創ろう～ゆるキャラも創ろう～」をテーマとしてグループワークを行い、学習報告会で発表する。



参加学生 29名

歯学 4名
薬学 6名
看護学 11名
栄養学 4名
社会福祉学 4名

学生の声

歯学生

(長崎大学歯学部歯学科2年)

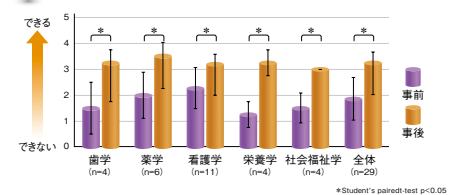
今まで地域包括支援センターについて知らなかったのだが、今回の実習を通して、地域や高齢者を支援する方法はたくさんあるのだと思った。今後自分ができるか、何をすべきか、歯学部生として考えていかなければならないと思った。

看護学生

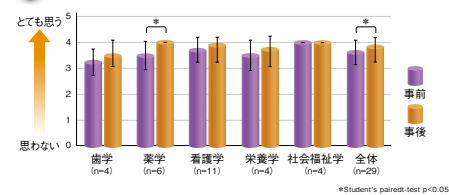
(長崎県立大学看護栄養学部看護学科1年)

今回、他職種や他機関との連携がとても大切であると感じた。そのため、どんな環境でも対応できるような協調性を身につけていかなければならないと考える。そして、今回のように他大学・学科・学年の人たちなど、様々な人々と積極的に関わりを持っていこうと思う。また、他職種や他機関で働く人々の考え方や価値観なども学んでいこうと思う。

1 高齢者をはじめとする地域の様々な健康レベル・介護レベルにある人々が必要としているケアの内容について述べることはできますか?



2 他学科の学生との学習は他の専門職への理解を深める良い機会になる(なった)と思いますか?



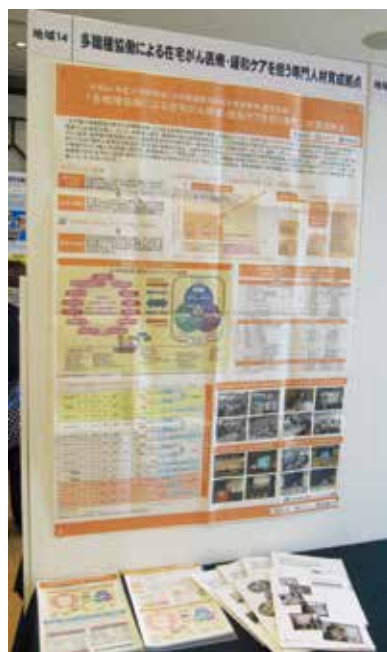
長崎大学
(長崎市)
(学務部)
〒850-8501 長崎市文政町1-14
長崎大学薬学部内
TEL:095-813-2460
E-mail: info@mc-nagasaki.jp

長崎県立大学
(西彼杵郡長与町)
(事務局(サテライト))
〒851-2195 西彼杵郡長与町おひ野1-1-1
長崎県立大学コンソーシアム長崎内
TEL&FAX:095-813-5172

長崎国際大学
(佐世保市)
(学務局(学生サービス))
〒859-3208 佐世保市
パリスンスタイル28257
本館国際大学学生事務課直内
TEL:0956-20-5611 FAX:0956-20-5622

「大学間連携共同教育推進事業」シンポジウムin金沢 ～その成果と今後～

- 日 時：平成29年2月28日（火）
会 場：金沢東急ホテル5階ボールルーム（石川県金沢市）
発表形式：ポスター
発表テーマ：「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」
趣 旨：大学間連携共同教育推進事業選定取組が開始されてから最終年度を迎え、全国の本事業関係者間の情報交換を行うことにより、今後の事業継続に役立てるとともに、本事業の成果を対外的にアピールすることを目的とする。
概 要：事例報告、パネルディスカッション及び本事業に係るポスターセッション



平成24年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組 「多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点」



わが国の保健医療分野では多職種協働による在宅医療体制の整備が重要な課題となっており、地域包括ケアの中で在宅がん患者の療養支援を行う体制整備を推進する必要性は高い。そこで、本事業は薬学・看護学の統合教育体制を確立している長崎県内の国公私立3大学(長崎大学・長崎県立大学・長崎国際大学)が、さらに医学・歯学等の教育者を加えた協働教育体制の充実を図り、県内の4自治体・12職能団体・1法人が、連携・一体となって、多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成の拠点作りを目指す取組みである。文部科学省が実施した「大学間連携共同教育推進事業」中間評価において、全国の地域連携分野25取組のなかで唯一のS評価に選ばれ、新規事業として「特別企画シンポジウム」の開催と授業内容のエッセンスをまとめた動画を学生等がホームページを通して自由視聴できる「在宅がん医療・緩和ケアWEB講座」の制作を行うことができた。平成28年度は、補助事業終了後の継続に向けた活動も含め、さらなる事業推進に取り組んでいる(平成29年2月)。

プロジェクト概要

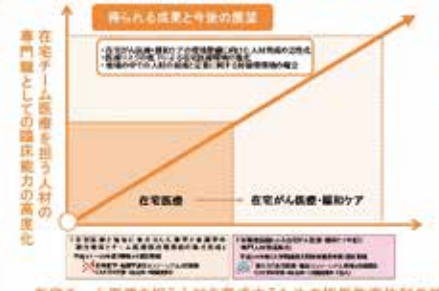
育てたい人材像
多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門職としての主体性と協働性を身につけ、在宅がん医療に貢献できる人材。

連携の戦略
既に確立している在宅チーム医療に関する薬学と看護学の統合教育体制を基盤とし、新たに医学や歯学等の教育者と地域の人材を加えた協働教育体制の充実を図ることにより、実行性のある連携教育を展開する。

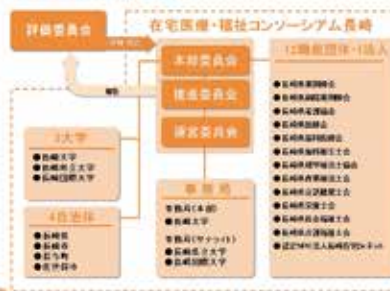
在宅医療・福祉コンソーシアム長崎の組織化

連携の成果
学生は多職種協働の必要性を認識し、自らの専門分野とは異なる分野のケアに関する基礎力、応用力、実践力を身につけ、在宅がん患者の療養支援をできる専門性を修得する。学生は地域の在宅医療機関や福祉施設で広く活躍する。

多職種協働による在宅チーム医療体制の発展・充実



運営体制と評価体制



在宅チーム医療を担う人材を育成するための協働教育体制の拡充



在宅医療・福祉コンソーシアム長崎 WEB講座

【多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアの基礎知識】

タイトル(講義名)	講師氏名	所属機関
1 在宅医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当
2 在宅医療・緩和ケアの現状	内田 洋	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当
3 在宅がん医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当
4 在宅がん医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当
5 在宅がん医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当
6 在宅がん医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当
7 在宅がん医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当
8 在宅がん医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当
9 在宅がん医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当
10 在宅がん医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当

大学間単位互換科目の開発年次計画

科目名	科目コード	学年	履修単位	担当	履修条件	単位互換先	単位互換先	単位互換先	単位互換先
在宅医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	2024	2024	1	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当	長崎県立大学	長崎国際大学	長崎県立大学	長崎国際大学
在宅医療・緩和ケアの現状	2024	2024	1	内田 洋	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当	長崎県立大学	長崎国際大学	長崎県立大学	長崎国際大学
在宅がん医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	2024	2024	1	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当	長崎県立大学	長崎国際大学	長崎県立大学	長崎国際大学
在宅がん医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	2024	2024	1	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当	長崎県立大学	長崎国際大学	長崎県立大学	長崎国際大学
在宅がん医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	2024	2024	1	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当	長崎県立大学	長崎国際大学	長崎県立大学	長崎国際大学
在宅がん医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	2024	2024	1	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当	長崎県立大学	長崎国際大学	長崎県立大学	長崎国際大学
在宅がん医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	2024	2024	1	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当	長崎県立大学	長崎国際大学	長崎県立大学	長崎国際大学
在宅がん医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	2024	2024	1	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当	長崎県立大学	長崎国際大学	長崎県立大学	長崎国際大学
在宅がん医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	2024	2024	1	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当	長崎県立大学	長崎国際大学	長崎県立大学	長崎国際大学
在宅がん医療・緩和ケアの重要性と役割の明確化	2024	2024	1	中野 知寿	長崎大学大学院 薬学専攻 薬学教育担当	長崎県立大学	長崎国際大学	長崎県立大学	長崎国際大学

多職種連携実践型学習(平成28年8月)



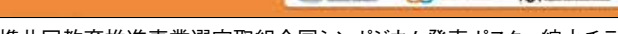
在宅がん医療・緩和ケア実習(平成28年8月)



特別企画シンポジウム(平成28年2月)



長崎県民フォーラム(平成28年6~11月)



NICE キャンパス長崎について
長崎県内各大学の、長崎大学および高等専門学校で構成される「大学間単位互換制度」

